

# Co.山田うん

「W.i.f.e.」「IN SIDE OUT」

西日本地域巡回公演

(福岡、高知、神戸、広島、山口)

## 山口公演

2006.3.21 (火・祝) 山口情報芸術センター



© Yoichi Tsukada

コンテンポラリー・アート・ネットワーク

〒150-0042 渋谷区宇田川町 36-22 ノア渋谷パートⅡ 601

TEL : 03-5457-3163 FAX : 03-5457-3164

E-mail [can@contemporary-art-network.com](mailto:can@contemporary-art-network.com)

情報掲載のお願い

Co.山田うん

「W.i.f.e.」「IN SIDE OUT」 西日本地域巡回公演

山口公演のお知らせ

Co.山田うんは、2002年のカンパニー設立以来、これまでにユーモアや機知に富んだ独特の舞台作品を発表し、各方面から高い評価を得ています。その独特の世界観は、国内のダンスシーンはもとより海外からも注目を集め、国内外のダンス・フェスティバル等で上演を行っています。今年の夏は、イギリス・ドイツをはじめとするヨーロッパツアーも行いました。今後は、カンパニー公演を行ったことのない首都圏以外の国内各地で、Co.山田うんの作品を上演していきたいと思っています。

そこでこのたび、新しい観客の方々との出会いを期待し、「Co.山田うん 西日本巡回公演」を行うことになりました。福岡会場を皮切りに、高知、神戸、広島、山口と巡ります。

つきましては、当事業の山口公演について、ぜひご案内くださいますようお願い申し上げます。詳細は別紙にてご案内しておりますが、不明な点がございましたら下記のご連絡先にお気軽にお問い合わせくださいますようお願いいたします。

■お問い合わせ先■

コンテンポラリー・アート・ネットワーク

担当：菊丸、通山（つうざん）

〒150-0042 渋谷区宇田川町 36-22 ノア渋谷パートⅡ 601

TEL：03-5457-3163 FAX：03-5457-3164

E-mail can@contemporary-art-network.com

■ 山口会場 公演概要

Co.山田うん 「W.i.f.e.」「IN SIDE OUT」 振付/演出 山田うん

◎日時 2006年3月21日(火・祝) 14:00開演 [13:30開場]

◎会場 山口情報芸術センター スタジオA

◎料金 一般前売 ¥2000 当日 ¥2500 全席自由

◎チケット取扱 山口市文化振興財団チケットインフォメーション 083-920-6111  
JCDN ダンスリザーブ (インターネット・チケット予約サービス)  
<http://dance.jcdn.org/>  
コンテンポラリー・アート・ネットワーク 03-5457-3163

◎問い合わせ先 コンテンポラリー・アート・ネットワーク (CAN)  
TEL: 03-5457-3163 FAX: 03-5457-3164  
渋谷区宇田川町36-22 ノア渋谷パートII 601

主催: C o.山田うん

共催: (財)山口市文化振興財団

助成: 平成17年度文化庁芸術創造活動重点支援事業 (財)セゾン文化財団

制作: コンテンポラリー・アート・ネットワーク (CAN)

#### 【その他の会場・日程】

福岡会場 2005年12月17日(土) パピオビールーム  
共催: (財)福岡市文化芸術振興財団

高知会場 2005年12月22日(木) 高知県立美術館ホール  
共催: 高知県立美術館 (高知県文化財団)

広島会場 2006年3月17日(金) アステールプラザ  
共催: (財)広島市文化財団

神戸会場 2006年3月12日(日) 神戸アートビレッジセンター  
共催: 神戸アートビレッジセンター

#### ■ 上演作品

「**W.i.f.e.**」 初演 2004年12月 (スフィアメックス/天王洲、東京) 時間 40分  
振付/演出 山田うん  
出演 岩渕貞太、尾形直子、山田うん

チャーホフが愛人、後にチャーホフ夫人となった女優オリガ・クニッペルに、旅先から宛てた手紙で構成される書簡集「妻への手紙」に文学発想を得た、叙情的作品。「W.i.f.e」は「What is forever?」の略語。チャーホフは手紙の中で彼女への呼称を「私の犬」「大ばか」と「不身持な妻」「賢い女優」「よい友」等と記している。彼の選択する言葉と現実の身に宿る感情との間にどれ位の時差と距離が生じているのだろうか。ダンサー達は三人三様に存在し、愛の確信と不安の温度差に揺られながらも。

「IN SIDE OUT」 初演 2005年6月 (ダービー・ダンス・シアター/ノッティンガム、イギリス) 時間20分

振付/演出 山田うん

出演 伊藤知奈美、田畑真希

外気にありながら身体の中でしか感じられないことについて。または、身体の中にあるはずなのに外の世界、環境の中でしか認識できない記号について。身体の内側と外側に関連を持ちながら動作と静止を導く新しい回路を探していく、デュエット作品。

## Co.山田うん

2002年設立。カンパニー公演、ソロ、コラボレーション、ワークショップを活動の柱とし、年1回の新作公演や国内外のフェスティバル参加など、精力的に活動を展開している。作品製作においては、公演ごとに出演者をオーディションで選出することを特色としている。代表作に「ハイカブリ」「ワン◆ピース」「W.i.f.e.」他。

### 山田うん（振付家・ダンサー）

スポーツやダンスの経験を重ね、96年振付家として作品製作・発表を始め、ダンスを軸とした独自の創作活動を開始。2000年、横浜ダンスコレクション「ソロ\_デュオ・コンペティション」にて<在日フランス大使館賞>受賞後渡仏。何気ない振る舞いを基にユーモラスで機知に富んだソロダンスには定評があり、ダンサー・振付家として国内外で公演活動、ワークショップ等を展開。また、演劇界においても劇中ダンスや動作演出に携わり多彩な腕をみせている。2002年カンパニー<Co.山田うん>を設立。代表作に「Lock」「Sky/Lark」「月想曲」「テンテコマイ」他。 <http://www1.ocn.ne.jp/~yaun/>

#### ■ 参考画像

「w.i.f.e.」 (いずれも 2004 年 12 月アーツフィア初演 ©Yoichi Tsukada)



## ■ 作品評論

### 「W.i.f.e.」

(抜粋) 『w.i.f.e.』はチャーホフの「妻への手紙」に取材した女性2、男性1のシアトリカルな作品で、マーラーやヴァイルなど重く退廃的な音楽を背景に、ダンサーの静謐な佇まいや間合いを見せる。ピアノやビデオ、文字の書かれた紙など小道具も多用される。

山田うんの振付の特徴は、何と言ってもオリジナルな語彙である。(中略) 日常的な身振りや仕草を取り入れつつ、細部のちょっとしたアクセントやニュアンスに執着したコミカルな動きには強く明確なフォルムがあり、それゆえ再現性が高く、誰が踊っても山田うんの「味」が確実に滲み出る。

(中略) 『w.i.f.e.』には、山田が男性を一本背負いしかけ、頂点でわずかに止めた後、一気に床に叩きつける場面がある。ここでは動きのリズムにおけるアイロニーが、「躊躇い」や「後悔」といった微妙な心理の揺れまで表現してしまうのだ。 武藤大祐 音楽舞踊新聞 No.2653